

空知管内 A 町で捕獲された野生動物の
サルモネラ保菌状況調査高久英徳[†] 小山 毅 早川さつき 田淵博之

北海道空知家畜保健衛生所（〒 079-0181 岩見沢市岡山町 12-37）

（2025 年 3 月 18 日受付・2025 年 5 月 19 日受理・2025 年 8 月 8 日公開）



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/78/8/78_e91/_article/-char/ja

要 約

2023 及び 2024 年，北海道空知管内 A 町で，牛のサルモネラ症（本症）が 3 例発生し，発生農場では，野生動物の侵入が衛生管理の問題の一つであった．そこで，本症の発生・まん延に野生動物の関与を疑い，捕獲された野生動物のサルモネラ保菌状況調査を実施したところ，*Salmonella* Typhimurium が分離された．さらに，野生動物由来株及び家畜由来株の分子疫学的解析では近縁で，これらは，近年の分離株と同様に多剤耐性であった．農場における本症を含めた家畜感染症の発生予防及びまん延防止のため，野生動物の侵入防止対策の徹底が必要である．

——キーワード： *Salmonella* Typhimurium，サルモネラ症，野生動物．

----- 日獣会誌 78, e91～e94 (2025)